

なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和6年 第1回臨時会・全員協議会

第1回臨時会 可決議案一覧

予算関連議案	賛否
●令和5年度 補正予算	
・一般会計の補正は1,739万9千円増額し、総額45億3,580万2千円となります。	審議内容掲載P13 全員賛成
専決処分事項の報告	
●事故の和解及び損害賠償額の決定について	
・地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、事故による損害について和解し賠償するものです。	

第1回臨時会

13 P

○令和6年第1回臨時会が2月5日に1日間の会期で開かれました。

★第1回臨時会

☆可決議案一覧

☆補正予算(第7号)

☆全員協議会

★議員研修旅行報告

★委員会報告

・リニア新幹線対策特別委員会
・議会のあり方研究特別委員会

15 P
14 P
14 P
13 P
13 P

補正予算審議概要

令和5年度補正予算(一般会計)が2月臨時会で審議され、全会一致で可決されました。補正予算概要を表に示し、審議の主な質疑と討論を掲載します。

低所得者支援給付金について

Q 「住民税均等割のみ課税世帯への給付」について対象世帯数は、

A 対象は150世帯で、1世帯あたり10万円、計1500万円の事業を見込んでいます。

Q 現在「住民税均等割非課税世帯への給付」を実施中だが、どのような状況か。

A 現在438世帯を対象とし、1世帯あたり7万円、計3066万円を支給しており、事業としてはほぼ完了しています。

南木曾会館の設備改善について

Q 先日行われた「公民館大会」で講演者の説明資料を映すスクリーンが小さくて見えにくかった。またマイクの調子も良くなかったが改善できないか。

A 会館の備品等の改善は確認検討します。

Q 南木曾会館のトイレ等、設備の老朽化が激しく使いにくい。改修や建替え等は考えているか。

A 現在、南木曾会館とグラウンドの将来構想を検討しています。それにあわせて南木曾会館の改修や建替えについて検討していきます。

中津川新市長との面談について

Q 町長が中津川市の新市長と面談したとの報告があった。坂下診療所の民営化問題について具体的な話はあったか。

A 新市長が坂下診療所の存続に否定的だと伝わっているようだが、決してそうではないというお話でした。民営化の件については市長もまだ状況を十分把握している訳ではなく、少し時間を頂きたいとのこと。今後住民や関係者の話をよく聞いたうえで、計画や考え方についても内容を確認しながら、地域の医療、そして介護の問題も含め検討していきたいとの考えでした。

令和6年2月補正予算 (2/5決)
一般会計補正予算 1,739万9千円を増額
総額45億3,580万2千円

●一般会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計(第7号)	17,399	4,535,802

議会と町の意見交換

全員協議会

(2月5日)

全員協議会とは：

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長長の招集により開催し、公開を原則とします。

「妻籠町並み交流センター建設工事」入札不正行為に係る賠償金の取扱いについて

【説明概要】

妻籠町並み交流センター建設工事の入札に関して、公契約関係係競争入札妨害罪で略式命令を受けた事業者に対し工事契約書の取り決めに基いて賠償金を請求することとします。

金額は4128万3千円（契約額の2割）を請求することで交渉しています。また過大交付と算定された国庫補助金を返還することとし、賠償金の納付が確定した後に国等の指導により手続きを進めます。見通しはつきりした時点で町民の皆様には広報等でお知らせします。

全員協議会の質疑内容

●…質問 ○…意見・要望など

- 今後の補助金事業に対する影響は。
- 業者は賠償金の事を把握しているのか。また期間内の支払いの期間とは。
- 妻籠で年間2～3件行っている文化庁との保存事業（補助金事業）に影響が出るのではないかと。
- 保存事業に当該業者が関わるといって問題はないのか。指名停止期間内くらいは外れてもらうべきでは。
- 今回は業者の賠償金の件だが、町の責任についてはどうなのか。文化庁や県からの指導はあったか。
- この問題については議会の責任を問う声もある。その中でもチェック機能が本当に働いていたかどうかの検証をする必要があると思う。



議員研修旅行報告

世界の平和を祈願して



沖縄県平和祈念公園 資料館入口にて

1月13日から16日まで議員研修で沖縄県に行ってきました。この研修は議員の任期中に1度、全額自己負担で開催されてきているものです。

1月13日(土) 初詣のため熱田神宮で参拝してから那覇市に向かいました。飛行機の窓からは建設中の辺野古基地を見ることができました。

1月14日(日) 2020年の火災で焼失した首里城の復元工事状況を見学。日曜日のため作業状況は見られませんが、屋根まで続く見学通路から完成後では見えない箇所も見ることができました。できれば数年後に完成した首里城を訪れたいと思います。

次に平和祈念公園、ひめゆり平和祈念資料館を見学。戦前、日本は富国強

兵により軍備を拡張し、満州事変、日中戦争、アジア・太平洋戦争へと拡大しました。沖縄は15年戦争の最後の決戦場となり、戦死者は軍人よりも一般住民がはるかに多く10数万人と言われています。その悲惨な写真や壮絶な戦闘の映像を観て、現在もウクライナやガザの戦場で毎日多くの一般住民が犠牲となっていることに暗たんたる気分になり、戦争は二度としてはならないことを痛切に感じました。

1月15日(月) 宜野湾市の嘉数高台公園の展望台から、世界でも最も危険な基地と言われている普天間基地を視察。オスプレイが駐機しているのが確認できました。基地の周辺には学校や住宅が密集していました。住民が飛行機の騒音や事故等の危険と向き合って生活していくには厳しい環境だと感じました。

午後は沖縄美ら海水族館を見学し、その後普天間基地の代替地である辺野古の埋立て地を、美しい海とともに対岸の浜辺から視察しました。船の上から重機で土砂を海中に埋め立てているのが見えました。14日に視察した資料館で見た悲惨な状況が脳裏にこびりついたまま、米軍基地が造られていることに複雑な思いを抱きました。

戦後約80年が過ぎ、今もなお沖縄が戦争の負担を負っていることをこの研修で考えさせられました。再び沖縄が戦場とならないように、そして世界の平和を祈願し16日に無事南木曾に帰ってきました。

(記 近藤隆 議員)

委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

第40回南木曾町リニア対策協議会への意見集約

令和6年1月17日、役場大会議室において議長、委員（8名）、副町長、もっと元気に戦略室、建設環境課等の出席により委員会を開催し、意見を次のようにまとめました。

①対策協議会の進め方について

- ・対策協議会では、様々な角度からの情報を汲み取る方向での議論の進め方を望む。

②水道水源予備的措置

- ・富貴畑仮設浄水場からの送水管と接続管を「準備工」から「仮設置」へと変更する計画の説明を明確にしておくこと。

③発生土置場候補地について

12月17日に行われた尾越の発生土置場候補地視察により、盛土について以下のような意見がありました。議会として統一した見解はありません。

- ・旧特殊精礫当時の災害等に備えた基金の積み立てがあるが、その基金だけで管理は無理だ。今後JR東海が恒久的に責任を持てば安心感がある。
- ・荒れた状態を見ると、整地してきちんと盛土した方が安全だと思う。
- ・想像より緑化が進んでいる。
- ・硬い岩質なので、表面に盛土をすると地すべりの恐れがある。
- ・この視察の後、長者畑も見学してほしかった。

（文責：赤坂孝委員長）

委員会報告 議会のあり方研究特別委員会

議員報酬について、令和6年2月2日付で、南木曾町特別職報酬等審議会（伊藤民男会長）から町長へ、下記のとおり答申が示されました。

答申内容

1、議員報酬の改定額

議員の報酬額については10～15%程度の引き上げを行うことが適当である。引き上げにあたっては「議員」報酬額の引き上げ額を基本として、議長・副議長・委員長の現行額に同額を加算とする。

- 議長 257,000円～264,500円
（現行242,000円）
- 副議長 185,000円～192,500円
（現行170,000円）
- 常任委員長 171,000円～178,500円
（現行156,000円）
- 議運委員長 171,000円～178,500円
（現行156,000円）
- 議員 165,000円～172,000円
（現行150,000円）

●特別委員会委員長

常任委員長・議運委員長と同額にすることが適当である。

2、改定の理由

- ・社会的に賃金引き上げの傾向にあり、議員報酬も前回の改定（平成28年）から8年が経過しているため、一定額の引き上げは必要である。
- ・依然として厳しい町の財政事情を考慮すると、大幅な報酬額の引き上げは難しいと思われる。また、住民理解といったところも考えると、県内同規模町村や郡内町村とのバランスを見ることも必要である。
- ・今回の報酬額の改定審議にあたっては、町職員（一般職）の初任給における平成28年からの引き上げ額（大卒18,000円、高卒20,500円）を一つの目安とした。

答申を受けて

町の考え方

- ・議員報酬額が10～15%と幅があるので、改定理由や町の財政事情を鑑みて検討したいです。
- ・今後条例委員の報酬改定も検討するので、これに合わせて6月の議会に諮りたいと考えます。

議会の考え方

- ・2月5日に議会のあり方研究特別委員会を開催し、様々な意見が出されました。本来なら議会改選前に報酬等の改定を行い、新体制に引き継ぐことが良いと思われましたが、今回は町の考えに委ね6月議会に諮ることとしました。

（文責：早川親利委員長）